



さいと

市議会だより

第120号

令和7年5月1日発行



西都市スポーツ推進委員協議会の主催による「ファミリー健康体力向上事業」体力測定会

●2月臨時会の概要●

令和7年第1回臨時会は2月10日に招集され、市長提出議案3件について審議を行いました。採決の結果原案可決(うち2件は承認)としました。

●3月定例会の概要●

令和7年第2回定例会は2月27日に招集。3月19日までの会期で市長提出議案44件、議員提出議案2件、陳情1件について審議を行いました。採決の結果、市長提出議案についてはいずれも原案可決(うち2件は同意)としました。議員提出議案2件は原案可決に、陳情1件については継続審査としました。

主な掲載内容

- ◎一 般 質 問 …P2~5
- ◎議 案 審 議 結 果 …P6
- ◎委 員 会 審 査 概 要 …P7, 8
- ◎陳 情 審 査 結 果 …P8

西都市議会
ホームページ

ホームページ
はこちらから↓



西都市議会

検索

マチイロ



ダウンロードは
はこちらから↓



さいと市議会だよりを
アプリで配信中!

市長就任と選挙公約について

令和の会 黒木 吉彦



動画はこちらから↓



問① 4年ぶりに市長に就任した現在の心境と本市の現状をどのように捉え、市政運営を図っていられるのか伺いたい。

答 就任後一カ月を經過し市民から寄せられた信頼と期待に応えるべく、市長としての使命感と責任感が高まり全身全霊で市政運営に邁進していくという気持ちで日に日に強くなってきている。本市の現状は少子高齢化・人口減少をはじめさまざまな課題が山積している。しかし本市は豊かな農林畜産物をはじめ観光やスポーツランドなど大きな魅力と可能性を持っているので、市民や関係機関・団体と連携を築きながら、西都市が「丸」となった「オール西都」で円滑な市政運営に取り組んでいきたいと考えている。

問② 市長の選挙公約のなかに子育て支援の充実とあるが市長が考える支援策を伺いたい。

ら出産までの費用に対する新たな支援を検討するとともに、検診費や医療費・給食費などに対する経済的な支援を充実させ、本市で安心して出産・子育てが出来るよう取り組んでいく。

問③ スポーツ合宿の推進が掲げているが、2027年には「宮崎国スポ・障スポ」が開催される。選手等の宿泊の受入れについて考えを伺いたい。

答 「宮崎国スポ・障スポ」大会期間中は、多くの選手・競技関係者が本市に訪れる。本市の魅力を感じていただくためにも市内への宿泊の推進に取り組んでいく。

問④ スポーツランド構想をどのように考えているのか伺いたい。

答 スポーツランド構想については、本市では、毎年多くのチーム・団体が来ている。推計ではあるが令和5年度実績で約9千7百万円の経済効果をもたらすなど有効な活性化策であると考えている。今後も魅力的な施設の整備に努め受入れ体制の強化を図るとともにその魅力を広く発信することで、さらなるスポーツランドの推進に繋がるよう取り組んでいく。

すみれの会 森 祐子



動画はこちらから↓



問① 前市長との引継ぎについてどのような実施されたのか。

答 書面による事務引継を行った。特に押川市長が重要事項ととらえた内容があれば伺いたい。

答 いずれも重要であり私の選挙公約に関する事項もあった。職員と協議を進め特に重要と判断する事項から取り組んでいきたい。

問② 西都商業高校跡地への宿泊施設建設の公約について。

答 事業主体は行政か、それとも民間事業者か。

答 所有者の民間事業者が主体。

問③ 既存の他宿泊施設への影響は。

答 活性化により既存の施設への宿泊者数も増加するものと考えている。

問④ 公的資金等の支援について民間事業者と約束されているのか。

答 民間事業者との約束はない。民間事業者側からは周辺道路整備について要望があるため庁内協議中。

問⑤ 医療行政について

答 地方独立行政法人西都児湯医療センターの第4期中期目標で示している、

市長の政治姿勢と公約について・ガイドンセンターこのはな館について

る、「当医療圏に不足している脳疾患をはじめとする緊急性を有する疾患における二次救急医療の提供」や「地域に不足する診療科の充実」についてこのまま目指されるのか、市長の意向を伺いたい。

答 基本的な大筋の内容について変更がないものと考えている。

問④ 西都原ガイドンセンターこのはな館について

答 リニューアルの目的は。

答 おもてなしにより満足度を高めることや市全体で外貨を稼ぐ一翼を担う施設とするため。

問⑤ リニューアル費用は。

答 合計約2億9千万円の見込み。

問⑥ 指定管理者については。

答 2者の応募があり、一般財団法人西都市観光協会を選定した。

問⑦ 指定管理料については。

答 リニューアル前は822万7千円、リニューアル後は2648万2千円。

問⑧ 指定管理料増加の理由は。

答 提供サービス充実のための人件費増加を想定したもの。

問⑨ リニューアル目的達成のための具体的手立てについては。

答 対面での観光情報等の発信等により地域活性化に繋げていきたい。

高齢者の交通安全支援と市長の選挙公約について

公明党 浦田 明子



動画はこちらから↓



問① 本市での高齢者の自動車事故で一番多い事故原因、年齢、件数、近年状況を伺う。

答 今年を含め本市の今年を含めた3ヶ年情報として、一番多い事故原因はわき見運転等によるもの、一番多い年齢層は3ヶ年とも80歳以上で、件数は最も多い年は令和4年の12件、令和6年は9件である。

問② 毎年どれくらいの高齢者が免許証を返納されているか、免許証返納メ리트制度のギフト券の金額を伺う。

答 本年度につきましては2月末で157名の方が免許証返納されている。免許証返納メ리트制度のギフト券につきましては、今年度より2万円となっている。

問③ 本市では後付けできる誤発進抑制装置自動ブレーキ等の助成はあるのか伺う。

答 高齢者の誤発進抑制装置自動ブレーキ等の助成はない。

問④ 高齢者のドライブレコーダーの助成はあるのか伺う。

答 高齢者のドライブレコーダーの設置に関する助成はない。

問⑤ 車社会の西都であり、高齢者へ安全に自動車運転を行ってもらうための検討すべき課題があると思うが見解を伺う。

答 今後も安心して高齢者に運転して頂く為にまずは、高齢者が免許更新の際に宣言される制限運転を警察署と一緒に推進していく。また誤発進抑制装置自動ブレーキ等に関する助成に関しては先進地の調査も踏まえ検討する。

問⑥ 市長の選挙公約の宿泊施設の充実について、新たな宿泊施設整備に関し建設までどれくらいの数年を考えているのか見解を伺う。

答 宿泊施設整備に関し、昨今の企業経営状況、社会情勢を見ながら活用策を検討中である。今後具体的に示す時期が来たら報告する。

問⑦ 本市の老朽化が進んでいる宿泊施設の修繕等の助成金対応策はあるのか見解を伺う。

答 宿泊施設の不足している本市において、各事業所の実情に応じた支援策を講じる必要がある。国・県では各種の補助メニューを創設されているのでそういった事業の活用などを含めて対応していく考えである。

問⑧ 選挙公約全体についての実現に向けた市長の見解を伺う。

答 市民の皆さん、関係機関・団体の声を聴き信頼を築きながら西都市一丸となり取り組む考えである。

利便性の高い情報提供・公開のあり方と住民自治を考察する

結 壱岐 秀光



動画はこちらから↓



問① 外部監査制度(包括・個別)の導入の是非を伺う。

答 是非を含め先進地の事例を参考に研究したい。

問② 指定管理者制度の運営に疑義が生じた際の対応を伺う。

答 各施設を担当する課と指定管理者間の協議を随時実施。

問③ 「市政の見える化」に向け事務事業評価結果を公表してはどうか伺う。

答 指標設定を進め誰もが分かりやすい評価の環境を構築していくことが大事であり課題である。

問④ 小中学校の児童・生徒の虫歯の現状(調査状況など)を伺う。

答 歯科検診の受診者数は2009人。うち虫歯罹患者は326人。さらに口腔崩壊の児童・生徒は14人である。

問⑤ 新たに取り組む小中学校でのフッ化物洗口事業の概要を伺う。

答 作成中のマニュアルに基づき学校保護者への説明会を経て希望者に対し適宜実施する計画。

問⑥ 本市における女性のがん検診受診率を伺う。

答 昨年度の子宮頸がん検診受診率18.5%、乳がん検診受診率は14.4%。

問⑦ 本市の長きにわたる医療課題のひとつである「産婦人科医療体制(周産期医療含む)」「小児科医療体制(夜間診療含む)」に対する市長の所感と策を伺う。

答 ニーズの高い課題と認識し、関係機関と議論をより重ねる。

問⑧ 西都児湯医療センター施設整備基本計画(新病院建設)の進捗状況を伺う。

答 今後も慎重な検討と協議が必要であり、業務委託(コンサル)を令和7年度に繰越す。

問⑨ 全放課後児童クラブにおける不測の事態に備えた防止策や緊急対応の体制整備を伺う。

答 子どもの安全を第一に施設等の安全点検・安全教育・避難訓練・不審者対応訓練を実施。

問⑩ 本市の学校に通うアフガニスタンの児童・生徒への給食(宗教による食の戒律)の現状を伺う。

答 ほぼ毎日、牛乳と白米(パン)のみで時折サラダがつく状況であり適切な栄養の摂取ができていない現状である。

防災ラジオ、西都市都於郡歴史館について

新風会 村上 修乗



動画はこちらから↓



問① 市民より旧型の防災ラジオの設置がなくなると聞いた。また、今まで台風等の避難時に防災ラジオを頼りにしていたが、避難勧告等の連絡が遅く、中々、使い勝手が悪いとの話も聞いた。今後の防災を考えて、高齢者でも誰でも使える防災連絡の備品を考えて欲しいとの声をいただいた。今後の防災ラジオに代わる、代替備品をどの様に考えているのか、市長の見解を伺う。

答 平成20年から22年にかけて設置された本市の同報系防災行政無線については老朽化のため令和5年度から更新工事を行っているが今回の工事に伴って電波方式が変わることから、これまで貸与している防災ラジオは本市の防災情報を受信できなくなる。そのため本市としては防災ラジオに代わる防災情報の取得について市公式ラインや防災メール等の登録をお願いしているところである。また、新しい電波方式に対応した個別受信機について土砂災害

警戒区域や洪水浸水想定区域内に居住して情報収集が困難な世帯、障がい者などの配慮の必要な方がいる世帯及び地区の役員等を対象として意向調査を行い、設置を希望する方に貸与していたが今後は設置対象を高齢者世帯まで拡げ情報伝達環境の向上を図って参る。

問② 西都市都於郡歴史館が昨年の6月からオープンして今年の3月で約10カ月が経過した。市長が考える都於郡歴史館の現段階での今後の展開、計画等があれば伺う。

答 都於郡歴史館は開館後、これまで多くの方々に来館いただき都於郡地区に伝わる文化財が有する歴史的価値の大きさを改めて認識しているところである。今後は本施設が地域活性化への一拠点を担っていくためにも地元の方々をはじめ神楽酒造株式会社との協力をいただきながら西都市の文化財情報の発信拠点としても大いに活用していければと考えている。また都於郡歴史館のリーフレットなどを市内外に広く配布するなど更なるPRを行っていく。また西都市のホームページをはじめ各種SNS等を活用して都於郡歴史館の情報発信に努めて参る。

市長の政治姿勢・障がい者福祉・西都児湯医療センターについて

創生会 米良 弥



動画はこちらから↓



問① 押川市長の政治理念と西都市の将来像について伺う。

答 政治理念は、市民の声に真摯に耳を傾け、誠実に透明性の高い市政運営を行うことであり、子どもや孫の世代までいつまでも安心して豊かに、そして幸せに暮らせるまちを目指して、先頭に立って取り組んでいく。

問② 主な選挙公約と実現に向けた取り組みを伺う。

答 ①「人口減・高齢化対策」として、安心して出産・子育てができるよう、妊娠から出産までの新たな支援策や子育てのための医療費や給食費の支援拡大に取り組む。②「安心して住みやすい医療、環境の推進」として宮崎大学医学部や地元医師会と連携して子供から高齢者まで市民ニーズにあった医療提供体制の整備や高齢化に伴う移動手段の確保として公共ライドシェア等に取り組む。③「魅力ある観光の推進」として、事業者と連携した宿泊施設の充実やスポーツランド推進等に取り組む。

組む。④「農林・商業活性化の取組」として、本市の強みを活かした産業の育成強化を図っていく。

問③ 障がい者福祉の取り組みについて伺う。

答 障がい者が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう西都市障害者（児）基幹相談支援センターを核に市や各事業所と連携して、障がい者のニーズに合った相談・支援業務に取り組んでいる。

問④ 介助の必要な重度障がい者の移動手段確保について伺う。

答 移動支援は西都市移動支援事業実施要綱に基づき移動支援事業者が行っているが、事業者の定款で定める活動範囲内での支援となるので、事業所選択については、相談支援事業所との十分な打ち合わせを行うことになっている。

問⑤ 西都児湯医療センターの令和6年度経常収支の見込みと令和7年度以降の医師確保及び経営改善策について伺う。

答 令和6年度は1億5千万円の経常損失を見込んでいます。また、7年度以降の医師確保の目的はたっていない。経営改善については宮崎大学医学部と連携した医師確保やコスト削減に取り組む。

市長選挙の結果と公約実現・西都商跡地への宿泊施設整備について

日本共産党 狩野 保夫



動画はこちらから↓



問① 市長選挙について。

イ 市長選挙をどのような思いで臨まれたのか。

答 今の西都市を変えてほしい、何とかしてほしいという市民の声にしっかりと応えなければならぬという強い気持ちで臨んだところである。

ロ 何が勝利の要因と考えるか。

答 子どもや孫世代に豊かな西都市を築いていきたいという一心で、公約実現に向けた取り組みを誠実に真摯に訴え続け、それが有権者にご理解を頂いたことが結果につながったのではと考えている。

ハ 第18代西都市長として西都市政をどのように展望しその責任と役割を果たされるのか。

答 西都市政の最大の課題は人口減少である。持続可能な地域社会を形成していくことが人口減少社会にあつても地域経済が安定し人々が安心な暮らしを営んでいくことが可能になると考える。

問② 選挙公約について。

イ 小中学生の給食費無償化について。

答 給食費の無償化は子育て世帯の経済的負担を軽減し、すべての子どもたちが安心して教育を受けられる環境を整えるための必要な施策と考え選挙公約として掲げた。実施に向け検討を進めたい。

ロ 防犯灯電気料補助について。

答 補助額や事業内容の詳細について準備を進めている。無償化に向けて取り組む。

問③ 医療センター再建と新病院建設への展望について。

答 地元医師会、宮崎大学等として連携しながら良好な関係を構築し医療センターの再建に取組みたい。新病院建設については、人口規模や医療資源等を見極めながら持続可能で市民ニーズに合った医療行政の在り方を関係機関と議論を重ね方向性を定めたい。

問④ 西都商跡地の整備促進と宿泊施設整備について。

答 宿泊施設の整備については株式会社日南と連携をとり情報交換を密に行っている。昨今の企業の経営状況や社会情勢を見ながら、今後も引き続き整備に向けて協議を進め、早期の整備実現に向け支援をしていきたいと考えている。

新田原基地対策調査
特別委員会活動報告

令和6年度における新田原基地対策調査特別委員会の調査活動についての概要報告。

昨年7月22日に新田原基地大嶋司令を表敬し、同基地の視察を実施。

8月27日に実施する予定としていた九州防衛局要望については、台風10号の接近のため中止し、要望書を送付して対応。

10月29日に今年度配備予定であったF-35B等の視察を実施。

11月26日、27日にかけて、防衛省及び国会議員に対して要望活動を実施。

2月13日、14日、九州防衛局での勉強会・意見交換会、福岡県築上町で基地対策に関する行政調査及び築城基地視察を実施。

2月25日に新田原基地の夜間飛行訓練に伺い、夜間におけるF-15等の離着陸等の訓練の視察を実施。

3月26日に市長に同行し新田原基地におけるF-35Bの垂直着陸訓練に対して九州防衛局に要望を実施。

産業建設委員会
年間付託案件活動報告

国県道の総合的な整備促進、高速道及びアクセス道路の早期整備、並びに三市町村議会国道整備促進合同協議会への対応の概要報告。

昨年4月15日に西米良村にて三市町村議会国道整備促進合同協議会委員長会を開催。国道219号を西都市・西米良村・熊本県湯前町と合同で現地調査を行うこと、宮崎県や宮崎県議会に対して提言活動を行うことを確認。

6月4日、国道219号事業箇所での現地調査実施。

7月16日、宮崎県知事、県議会副議長、県土木整備部、熊本県土木部に提言活動実施。三市町村議会国道整備促進合同協議会定期総会を開催。

7月17日、西都土木事務所への表敬訪問及び県道札の元佐土原線の札の元工区と県道東郷西都線の平原工区等の現地調査実施。

8月5日、6日、国土交通省九州地方整備局、国土交通省道路局、県選出国会議員に対し、提言活動を実施。

■第1回臨時会・第2回定例会で審議された議案の審議結果

第1回臨時会【市長提出議案】

番号	議案名	審議結果	
第1号	専決処分の承認を求めることについて	承認	全会一致
第2号	専決処分の承認を求めることについて	承認	全会一致
第3号	令和6年度西都市一般会計予算補正(第16号)について	原案可決	全会一致

第2回定例会【市長提出議案】

番号	議案名	審議結果	
第4号	副市長の選任について	同意	全会一致
第5号	西都児湯公平委員会委員の選任について	同意	全会一致
第6号	刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	原案可決	全会一致
第7号	西都市犯罪被害者等支援条例の制定について	原案可決	全会一致
第8号	西都市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について	原案可決	全会一致
第9号	西都市職員の給与に関する条例の一部改正について	原案可決	全会一致
第10号	西都市職員の勤務時間及び休日休暇に関する条例及び西都市職員の育児休業等に関する条例の一部改正について	原案可決	全会一致
第11号	西都市都市公園条例の一部改正について	原案可決	全会一致
第12号	西都市道路占用料に関する条例の一部改正について	原案可決	全会一致
第13号	西都市空家等対策の推進に関する条例の一部改正について	原案可決	全会一致
第14号	西都市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	原案可決	全会一致
第15号	西都市布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準を定める条例の一部改正について	原案可決	全会一致
第16号	西都市非常勤の特別職職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	原案可決	全会一致
第17号	西都市公民館条例の一部改正について	原案可決	全会一致
第18号	西都市非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部改正について	原案可決	全会一致
第19号	西都市退職金条例及び西都市平成元年4月分から同年7月分までの遺族扶助料に係る加算の年額等の特例に関する条例の廃止について	原案可決	全会一致
第20号	西都市農業制度資金利子補給基金条例の廃止について	原案可決	全会一致
第21号	令和6年度西都市一般会計予算補正(第17号)について	原案可決	全会一致
第22号	令和6年度西都市国民健康保険事業特別会計予算補正(第5号)について	原案可決	全会一致
第23号	令和6年度西都市営住宅事業特別会計予算補正(第5号)について	原案可決	全会一致
第24号	令和6年度西都市介護保険事業特別会計予算補正(第5号)について	原案可決	全会一致
第25号	令和6年度西都市後期高齢者医療特別会計予算補正(第6号)について	原案可決	全会一致
第26号	令和6年度西都市水道事業会計予算補正(第4号)について	原案可決	全会一致
第27号	令和6年度西都市簡易水道事業会計予算補正(第3号)について	原案可決	全会一致
第28号	令和6年度西都市公共下水道事業会計予算補正(第4号)について	原案可決	全会一致
第29号	令和6年度西都市農業集落排水事業会計予算補正(第3号)について	原案可決	全会一致
第30号	令和7年度西都市一般会計予算について	原案可決	全会一致
第31号	令和7年度西都市国民健康保険事業特別会計予算について	原案可決	賛成多数
第32号	令和7年度西都市営住宅事業特別会計予算について	原案可決	全会一致
第33号	令和7年度西都市介護保険事業特別会計予算について	原案可決	賛成多数
第34号	令和7年度西都市西米良村介護認定審査会特別会計予算について	原案可決	全会一致
第35号	令和7年度西都児湯障害認定審査会特別会計予算について	原案可決	全会一致
第36号	令和7年度西都市後期高齢者医療特別会計予算について	原案可決	賛成多数
第37号	令和7年度西都児湯いじめ問題対策専門委員会特別会計予算について	原案可決	全会一致
第38号	令和7年度西都児湯いじめ問題調査委員会特別会計予算について	原案可決	全会一致
第39号	令和7年度西都児湯公平委員会特別会計予算について	原案可決	全会一致
第40号	令和7年度西都市水道事業会計予算について	原案可決	全会一致
第41号	令和7年度西都市簡易水道事業会計予算について	原案可決	全会一致
第42号	令和7年度西都市公共下水道事業会計予算について	原案可決	全会一致
第43号	令和7年度西都市農業集落排水事業会計予算について	原案可決	全会一致
第44号	地方独立行政法人西都児湯医療センター第4期中期計画の認可について	原案可決	全会一致
第45号	辺地総合整備計画の策定について	原案可決	全会一致
第46号	市道路線の廃止について	原案可決	全会一致
第47号	令和6年度西都市一般会計予算補正(第18号)について	原案可決	全会一致

第2回定例会【議員提出議案】

番号	議案名	審議結果	
第1号	西都市議会委員会条例の一部改正について	原案可決	全会一致
第2号	西都市議会の個人情報の保護に関する条例の一部改正について	原案可決	全会一致

賛否の分かれた議案等の表決一覧

番号	件名	議員名（左から議席番号順）															審議結果	
		荒川敏満	森祐子	志岐秀光	浦田明子	村上修乗	米良弥	岩切一夫	太田寛文	田爪淑子	黒木吉彦	中武邦美	井上司	井上久昭	狩野保夫	橋口登志郎		
第31号	令和7年度西都市国民健康保険事業特別会計予算について	※	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	●	○	原案可決	
第33号	令和7年度西都市介護保険事業特別会計予算について		○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	原案可決
第36号	令和7年度西都市後期高齢者医療特別会計予算について		○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	原案可決

○：賛成 ●：反対 欠：欠席

※議長のため表決に参加しない

3月定例会

各委員会審査報告

委員長報告全文はホームページでご覧ください。



総務委員会審査概要

◎付託案件数11件

◎議案審議結果

全ての議案について、全会一致をもって原案可決。

◎審査過程で出た意見要望等

議案第10号の審査において本市職員の皆さんの働き方改革の一環として、育児休暇、介護休暇を必要とする男性職員等として働き方協議し、働きやすい支援体制作りをして、仕事も家庭も両立できるようにしていただきたい。

歳入予算の市税に、たばこ税2億2349万3千円が計上されている。本市にとって貴重な財源であり厳しい財政状況のなか、大変有難いことである。是非とも有効活用とともに喫煙者の喫煙対策を講じて頂きたい。

黒生野地区緊急避難路整備工事について、これは地元住民の念願である、災害等緊急事態発生

時の避難路の整備である。南海トラフ地震に備え担当課の素早い対応に対し地元住民は感謝されているので避難路早期完成をお願いしたい。

自動運転EVバス実証実験は令和7年度も継続実施し、昨年度の路線に加え、妻湯までの路線も検討しているとのことであるが、観光振興策としての活用の先進事例なども参考にあらゆるニーズを検討していただきたい。

文教厚生委員会審査概要

◎付託案件審査件数14件

◎議案審議結果

議案第7号、13号、30号、44号については、賛成討論がなされ、全会一致をもって原案可決。

議案第31号、33号、36号については、反対討論がなされ、採決の結果、賛成多数をもって原案可決。

その他の議案については、全会一致をもって原案可決。

◎審査の過程で出た意見・要望等

医療センター施設整備計画策定業務委託については令和7年度に繰り越して進められるとのこと

であるが、新病院建設については医療センター再建を第一に考えて進めていただきたい。

旧歴史資料館については解体せず、増え続ける図書館の保管庫としても、また防災倉庫としての活用も考えていただきたい。

公民館、自治会へ加入し協力する方々が減少し、将来自治会活動が不安定になる事が懸念される。勿論、加入は強制でなく任意ではあるが、加入した時のメリット、未加入のデメリットを明確に表現し、加入促進を図っていただきたい。

部活動指導者の課題として、人材不足があり、また指導資格をどうするかの問題がある。青少年の成長期に有効な部活動なので、正規の資格及び人間性の確認も考慮できるものにして欲しい。

西都中学校への統合が迫ってきている、いじめ問題や不登校については即行即断で行って欲しい。

デマンド型乗合タクシーの運行地域拡大を図り、高齢者の交通弱者対策を図っていただきたい。

産業建設委員会審査概要

◎付託議案件数11件

◎議案審議結果
全ての議案について、全会一致をもって原案可決。

◎審査の過程で出た意見・要望等

西都原ガイダンスセンターこのはな館がリニューアルオープンされ現時点では大変にぎわいをみせ脚光を浴びている。西都産品のPRの場としてのより一層の発展を願うとともに、おもてなしによる満足度の向上と市全体で外貨を稼ぐ一翼を担う施設として、商工観光課が関係団体や地元商店街等とのかけはしとなり、指定管理者としっかり連携して、今後もさらに前向きに取り組んでいただきたい。古代・歴史をはぐくむ癒しの台地、西都原が観光商業の拠点として栄えるようご尽力をお願いしたい。

農林業については、スマート農業、新規就農に、予算が良く配分されている。大切なことだが、親元就農に対しての支援が十分でないように見受けられる。一次産業が基幹産業である本市なので、農地を預かる農業就農者に対しての働きやすい配慮をお願いしたい。

農畜産物バリエアップ推進協議会で第2回西都ピカイチ認証審査会が開催され、11品目が西都の優れた特産品目であると認証された。今後、リニューアルオー

(次ページへ)

(前ページより)

ブンされた「このはな館」等や市内外に対して積極的にアピールして、西都産農産物加工品の消費拡大に努めていただきたい。

水道事業における有収率は84.5%で、県内他市の平均85.1%と比較すると若干ではあるが下回っている状況にある。有収率の改善は、施設の稼働に係る費用負担を軽減し、経営の安定化・水資源の有効活用など、経営効率の向上に資するものであることから、今後の漏水調査を更に強化するとともに、老朽管路の更新、耐震化を計画的に行っていただきたい。

陳情 審査結果

旧都於郡小学校山田分校の避難所としての整備等に関する陳情

継続審査

総務委員会 行政調査報告

令和7年2月3日、佐賀県嬉野市にて「自動運転バスの取り組みについて」行政調査を行った。

本市では令和6年11月25日、12月24日まで自動運転バスの実証実験を行なったが、今後本市で自動運転バスを活用していくために、先進地の嬉野市で、自動運転バス実証実験の目的や取り組み内容及び将来の展望について調査をした。

嬉野市における自動運転バス導入は、単なる移動手段ではなく地域のブランド力を高める「観光コンテンツ」としての位置づけであった。

本市でも自動運転バスの活用にあたっては、実証実験を重ね、更なる産業の活性化、交流人口拡大に繋げていく必要があると感じた。



ダムに関する勉強会

3月19日に議員によるダムに関する勉強会を開催しました。

本県では昨年8月に日向灘沖で発生した地震により震度6弱を観測しており、今年1月にも震度5弱の地震が発生しております。南海トラフ巨大地震の発生も心配される中、本市には、一ツ瀬ダムなど数箇所のダムが設置されており、市民の方から「地震の時ダムは安全なのか」という声もあることから、改めて九州電力と宮崎県の担当者からダムの安全性について説明を受けたところでです。

これまでの大規模地震の状況や想定等についての話を聞き、安全性に直ちに影響を及ぼすような被害は発生しないことを確認しました。



編集後記

令和7年、1月に西都市長選挙が行われ新市長へ交代され新たなスタートとなりました。3月には西都原ガイダンスセンターがリニューアルオープンし県内外の多くの観光客の皆様にも桜と菜の花でおもてなしができました。

そして、気が付けば5月、青空を泳ぐこいのぼりと水田の稲の緑が鮮やかな躍動感あふれる季節となり、私達、市議会議員も新年度を迎え西都市の発展と充実のまちづくりに努めて参ります。そして、議会報編集委員会は市民の皆様が読みやすく親しみやすい「さいと議会だより」を目指します。

(浦田 明子)

議会報編集委員会

委員長	岩切 一夫
副委員長	壺岐 秀光
委員	森 祐子
〃	浦田 明子
〃	村上 修乗
〃	太田 寛文